



1月19日

市役所およびコスモシアターで「いこいこ貝塚!」と「貝塚まるっと笑顔フェスタ」を同時開催しました。  
 ステージ・ワークショップ・スタンプラリーなど親子で遊べるブースが満載!  
 たくさんの親子連れが参加して、笑顔があふれるイベントとなりました。



1月22日 バレエスタジオ「バレエ オブ アメリカ」(澤)で学んでいる子どもたちが、大会結果や今後の予定を報告するため市役所を訪れました。皆さんは「アメリカユースグランプリ2025ファイナル」や「ローザンヌ国際バレエコンクール」に出場予定です。  
 世界へ羽ばたく若き才能たちの活躍が楽しみです!



1月26日

昭和24年の同日に起きた法隆寺の火災がきっかけに制定された「文化財防火デー」。  
 この日、市では防火啓発のため、重要文化財の願泉寺で消防団や地域の人々と共に消防訓練を行いました。



貝塚市観光大使の笑福亭たま様

2月2日

水間寺で節分法会が行われました。  
 今年は、貴主の法話の後、厄除け・招福開運を祈願して餅を配りました。  
 ご利益を求めて多くの方が訪れ、縁起の良い餅を手にしていました。

2月1日

京都府笠置町で開催された「KASAGI鍋フェスタ」につげさんが参加しました。  
 ☆かいづか☆学生まちづくりPROJECTの皆さんと一緒に、ステージなどで市のPRをしました。  
 イベントには約8,000人が来場し、様々な鍋に舌鼓を打ったりキャラクターと写真を撮ったりして楽しんでいました。



2月7日

本市在住の石田正彦様が、第86回全日本ベテランテニス選手権大会男子85歳以上シングルスにおいて準優勝を収められ、その報告に市役所を訪れました。  
 おめでとうございます。



貝塚スカウトクラブ



貝塚バトントワリングクラブ

2月7日

貝塚スカウトクラブおよび貝塚バトントワリングクラブの皆さんが、社会を明るくする運動に長年貢献されたことが評価され「法務大臣感謝状」を授与されました。  
 その報告に市役所を訪れ、酒井市長とそれぞれの活動について意見を交わしました。



**市長コラム**  
 貝塚ならではの景観や文化財を皆でいかに守り生かしていくか

本市の景観や文化財は、先人によって長い年月をかけて育まれ、受け継がれてきた、かけがえのない歴史・文化の結晶です。こうした本市ならではの地域資源を保全・活用していくことは、本市への誇りや愛着を醸成するとともに、まちの風格やイメージの向上、さらには交流人口の増加やにぎわい創出につながるものと期待されます。

しかし、昨年度に実施した景観に関する市民アンケートにおいて、「次の世代に残していきたい景観」に約7割の方が水間寺周辺を選択されたのに対し、歴史的まちなみが残る寺内町周辺を選択された方は約3割にとどまりました。また、世代別では若年世代ほど景観に対する関心が低い状況でした。

また、文化財については、所有者の高齢化や後継者不足が深刻となっており、所有者の代替わりで歴史的建造物が解体されたり、美術工芸品が散逸するような事例が相次いでいます。

景観や文化財は、一度失われれば取返しがつかない貴重なものですが、その大部分は民有であり、行政だけで守ることはできません。所有者や、団体事業者、そして幅広い世代の市民の皆様と共に取り組む必要があります。

そこで本市では、アンケート調査、ワークショップ、意見交換会などを実施し、貝塚ならではの景観資源の価値を再発見していただき、その魅力を向上させるため、大阪府策定の計画から独立し、市独自の景観計画を策定したところです。また、文化財についても、歴史遺産を未来につなぎ、豊かな心を育むため、文化財保存活用地域計画を策定し、文化庁の認定を得ました。

これらの計画の策定を契機に、本市の貴重な景観や文化財の価値を「共有」していただき、さらにそれらを今後のまちづくりにつなげることに「共感」し、共に取り組んでいただける次の世代の担い手の育成に努めてまいりますので、皆様のご理解とお力添えをお願いします。



ワークショップでまちの魅力を探りました

問合せ先 都市計画課 ☎072-4333-7246  
 文化財保存活用室 ☎072-4333-7126

